

## 令和5年度 果樹茶業研究会 開催要領

### 1. 開催趣旨

落葉果樹・寒冷地果樹及び果樹病害虫に係る試験研究の問題を取り上げ、技術情報の交換、研究課題の整理、研究手法の深化等を図る。また、果樹関係試験研究機関等の研究者相互の連携の強化や試験研究の効率化に資するため、本研究会を開催する。

### 2. 主催

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門  
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構植物防疫研究部門

### 3. 参集範囲

農林水産省、国立研究開発法人及び公設の試験研究機関、普及指導機関及び大学等の関係者、主催者が必要と認める者を対象とする。

### 4. 研究会の開催概要

全体会議についてはハイブリッド開催（現地／オンライン）、茶業研究会はオンライン開催のみ、その他の研究会は現地開催のみといたします。

各研究会の開催日時は以下の通り

会議名	開催日時	開催場所
全体会議	令和6年2月6日（火） 9:50～12:00	つくば市 つくば国際会議場 中ホール 【オンライン併用】
落葉果樹研究会	令和6年2月6日（火）13:20 ～2月7日（水）11:20	つくば市 つくば国際会議場 中ホール
果樹病害研究会	令和6年2月6日（火）10:00 ～2月7日（水）12:00	つくば市 つくば国際会議場 大会議室101
果樹虫害研究会	令和6年2月6日（火）10:00 ～2月7日（水）12:00	つくば市 つくば国際会議場 大会議室102
寒冷地果樹研究会	令和6年1月24日（水） 13:10～17:15	盛岡市 いわて県民情報交流センター(アイーナ) 803会議室
常緑果樹研究会	令和5年8月23日～24日 本年度は終了しました。	静岡市 男女共同参画センターあざれあ

茶業研究会	令和6年1月25日（木） 9:30～16:00	オンライン
-------	----------------------------	-------

## 5. 参加申込方法

下記URLから令和5年12月22日（金）までにお申し込み下さい。

URL : <https://prd.form.naro.go.jp/form/pub/naro01/r5kajyuchakaigi>

## 6. 問合せ先

### ○出席申し込み・全体会議に関する問い合わせ

農研機構果樹茶業研究部門研究推進部研究推進室

E-mail : kikaku-fruit04@naro.affrc.go.jp 電話 : 029-838-6447

### ○落葉果樹研究会に関する問い合わせ

農研機構果樹茶業研究部門果樹生産研究領域 伊東 明子

E-mail : akiko@naro.affrc.go.jp 電話 : 029-838-6461

### ○寒冷地果樹研究会に関する問い合わせ

農研機構果樹茶業研究部門果樹生産研究領域（盛岡研究拠点） 岩波 宏

E-mail : ringo-fruit@naro.affrc.go.jp 電話 : 019-645-6155

### ○果樹病害研究会に関する問い合わせ

農研機構植物防疫研究部門果樹茶病虫害防除研究領域 須崎 浩一

E-mail : kcsuzaki@naro.affrc.go.jp 電話 : 019-645-6156

### ○果樹虫害研究会に関する問い合わせ

農研機構植物防疫研究部門果樹茶病虫害防除研究領域 屋良 佳緒利

E-mail: yara@affrc.go.jp 電話: 019-645-6157

### ○常緑果樹研究会に関する問い合わせ

農研機構果樹茶業研究部門カンキツ研究領域常緑果樹研究会・系適会議事務局

E-mail: okitsu-1@naro.affrc.go.jp 電話: 054-369-7100

### ○茶業研究会に関する問い合わせ

農研機構果樹茶業研究部門研究推進部茶業連携調整役 山田 龍太郎

E-mail: cha-renkei@ml.affrc.go.jp 電話: 0547-45-4101（代）

## 7. その他

- 各研究会の要旨は、事前にダウンロードできるように参加登録者にメールでお知らせします。

- 全体会議については、Zoomによる配信を行います。オンライン参加を希望する方には、事前に参加ID・パスワードをメールでお知らせします。併せて「Zoom表示名」をお知らせしますので、必ずその名前を使用いただき、ご参加ください（参加できない場合があります）。

## 全体会議

「ブドウシャインマスカットの未開花症発生実態とその解決に向けた課題」

### 【趣旨】

近年発生が見られる「シャインマスカット」の生産性低下をもたらす未開花症の発生実態を把握し、要因を解明するため、全国の関係者の協力を得てアンケート調査を実施するとともに、生物系特定産業技術研究支援センターが実施する「オープンイノベーション研究・実用化推進事業」において「緊急課題」が実施されている。そこで、これまでの調査結果を紹介し、全国の公設試等に広く意見を求め、今後の技術的対策に資する。

### 【開催日時】

令和6年2月6日（火） 9：50～12：00

### 【開催場所・方法】

つくば国際会議場（エポカル） 中ホール（オンライン同時配信）

【あいさつ】 農研機構果樹茶業研究部門所長 井原 史雄

【話題提供】 「オープンイノベーション研究・実用化推進事業」緊急対応課題 調査結果

座長：齋藤 寿広

農研機構果樹茶業研究部門

#### 1. 「シャインマスカット」の2023年度未開花症発生に関する全国実態調査

農研機構果樹茶業研究部門 三谷 宣仁

#### 2. 主産県における事例

①山梨県

山梨県果樹試験場 塩谷 諭史

②山形県

山形県農業総合研究センター園芸農業研究所 小野寺 玲子

③長野県

長野県果樹試験場 桐崎 力

#### 3. 未開花症発生園の概要

農研機構果樹茶業研究部門 井上 博道

#### 4. 総合討論

## 落葉果樹研究会

「最近の落葉果樹の諸問題の解決に向けて」

令和6年2月6日（火）13：20 ～ 2月7日（水）11：20

### 【趣旨】

落葉果樹の栽培分野に関連して、樹種別に核果類、ナシ、ブドウ、カキの4つ、樹種共通として流通利用、土壌肥料、気象・温暖化の3つ、の合計7つのセッションを設け、最近のトピックス等の話題を提供し、情報共有と論議を進めることで、落葉果樹栽培分野のより一層の推進を図る。

### 【話題提供】

#### ① 流通利用

令和6年2月6日（火）13：20～14：00

- 1) 食感および粘弾性測定装置によるカキ果実の肉質評価  
岐阜県農業技術センター 鈴木哲也
- 2) 新しい肉質のモモ「夢桃香<sup>®</sup>」の加工利用に適する果肉赤色化処理方法  
山梨県果樹試験場 桐原峻

#### ② 土壌肥料

令和6年2月6日（火）14：00～14：40

- 1) 改植時の高温水点滴処理がニホンナシ若木の樹体生育と収量に及ぼす影響  
茨城県農業総合センター園芸研究所比屋根雅子
- 2) りんごM.9再養成台木の生育に及ぼすけい酸加里施用の効果  
長野県果樹試験場 土田河

-----休憩 20分-----

#### ③ 核果類

令和6年2月6日（火）15：00～16：00

- 1) 日本すもも「シナノパール」の果肉褐変について  
長野県果樹試験場 船橋徹郎
- 2) 安全・早期多収なウメ「福太夫」の低樹高栽培  
福井県農業試験場園芸研究センター 猿橋由恵
- 3) 開花前の温度条件がウメ花器および結実に及ぼす影響  
和歌山県果樹試験場うめ研究所 綱木海成

#### ④ ナシ

令和6年2月6日（火）16：00～16：40

- 1) ナシ栽培におけるスマート農業技術の体系化に向けた技術開発及び実証  
千葉県農林総合研究センター 桑田主税

- 2) 花粉採取と受粉作業の省力化を可能にするスマート農業技術の開発  
鳥取大学農学部 竹村圭弘

⑤ 気象・温暖化

令和6年2月7日(水) 8:50~9:50

- 1) カルシウム施用と断根処理がニホンナシ「王秋」の果肉障害発生に及ぼす影響  
埼玉県農業技術研究センター 島田智人
- 2) 九州におけるニホンナシ発芽不良発生状況調査のための気温・湿度観測ネットワークの構築  
農研機構中日本農業研究センター 臼井靖浩
- 3) 神奈川県におけるニホンナシ発芽不良発生状況と品種別耐凍性  
神奈川県農業技術センター 曾根田友暁

⑥ ブドウ

令和6年2月7日(水) 9:50~10:30

- 1) ハウスブドウ「シャインマスカット」のマルチ敷設・ドリップかん水による高糖度化技術  
山梨県果樹試験場 宇土幸伸
- 2) ブドウ「シャインマスカット」の糖度予測法およびウェブアプリの開発  
群馬県農業技術センター 星野智昭

-----休憩 10分-----

⑦ カキ

令和6年2月7日(水) 10:40~11:20

- 1) カキ「太秋」における結果母枝の発生由来の違いが翌年の雌花着生に及ぼす影響  
熊本県農業研究センター果樹研究所 湯田 健太
- 2) わい性台木「FDR-1」の中間台木利用によるカキ「秋王」の苗木育成技術  
福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター 津田 宗一郎

## 果樹病害研究会

「最近の果樹ウイルス病の発生と研究の動向」

### 【趣 旨】

果樹のウイルス病については平成21年に国内のウメで発生が確認されたPlum Pox Virusが記憶に新しい。その後、果樹ウイルス病について目立った発生はないが、果実生産のみならず苗木の生産・流通にも大きな影響を与えることから依然、警戒に当たる必要がある。本研究会では平成30年度に果樹ウイルス病をテーマとしたが当時扱わなかった樹種、また新たな進展のみられた樹種のあることから重点検討事項として改めて情報共有を図りたい。また特別講演として長年果樹病害の研究に携わってこられた愛媛県の清水伸一氏に、これまでのご自身の研究について振り返るとともに今後の果樹病害研究への期待を述べていただく。

### 【開催日時】

令和6年2月6日（火） 10：00 ～ 2月7日（水） 12：00

### 【開催場所】

つくば国際会議場（エポカル） 大会議室 101

住所：茨城県つくば市竹園2-20-3

### 【検討事項】

1) 重点検討テーマ「最近の果樹ウイルス病の発生と研究の動向」

「（仮題）リンゴにおけるウイルス病の発生と研究の動向」

八重樫 元（岩手大学）

「（仮題）ブドウにおけるウイルス病の発生と研究の動向」

伊藤 隆男（農研機構植防研）

「（仮題）カンキツにおけるウイルス病の発生と研究の動向」

富村 健太（農研機構果茶研）

2) 特別講演

（演題未定）

清水 伸一（愛媛県農林水産研究所）

3) （自由発表）各県等における研究成果

### 【開催方法について】

今年度の果樹虫害研究会は対面のみで実施されます。オンライン併用のハイブリッド開催ではございませんので、ご留意願います。

【発表課題の募集について】

- 1) 今年度より発表は学会に準じた形式で行います。質疑応答を含めて1課題あたり重点検討テーマが30分、その他の発表は15分程度を予定しています。申し込みが多数の場合には、発表数や発表時間を調整させていただきますので予めご了承ください。
- 2) 自由発表の演題は研究成果のほか、各研究機関で重点的に取り組んでいること、近年発生が問題となり防除に苦慮している病害など、他県と情報・意見交換をしたい事項など発表内容に制限は設けません。多数の応募を歓迎します。
- 3) 特別講演、重点検討テーマの講演要旨の様式は自由とします。自由発表にて各県等での研究成果の発表を希望される場合は別紙 病1「病害自由発表申込書」に必要事項をご記入のうえ、E-mailで農研機構植物防疫研究部門果樹茶病害虫防除研究領域 須崎浩一（kcsuzaki@affrc.go.jp）までお送りください。いずれの要旨の提出期限も令和5年12月25日（月曜日）とします。
- 4) 果樹病害研究会は【公開】の会議です。ご発表により内容が開示された扱いとなりますので、知財等を取  
得予定の場合には、予めその旨ご承知ください。

※ 別紙 病1課題発表申込書は以下のURLからダウンロードして利用可能です。

URL :

[https://www.naro.go.jp/laboratory/nifts/contents/kaigi/r5\\_kajuchagyou\\_kenkyukai.html](https://www.naro.go.jp/laboratory/nifts/contents/kaigi/r5_kajuchagyou_kenkyukai.html)



## 果樹虫害研究会

「寒冷地・常緑・落葉果樹害虫の発生と研究動向」

### 【趣旨】

今年度の果樹虫害研究会は、4年振りの対面開催、かつ初めて対面にての寒冷地、および常緑・落葉果樹虫害研究会の合同開催となる。そこで重点検討テーマを「寒冷地・常緑・落葉果樹害虫の防除体系と今後の問題」として各県等からの話題を募る。本テーマは、かつて落葉果樹研究会では平成17年度に、寒冷地果樹研究会では平成17および27年度に採用されている。その後、平成30年の農薬取締法の改正を受け、令和3年(10月)から農薬の再評価制度が始まった。また、2020年に公表されたEUの「Farm to Fork戦略」では、農薬のリスク削減について50%削減など、具体的な目標が定められている。これらを受け、主要な有機リン系殺虫剤の生産中止や、ネオニコチノイド系殺虫剤の使用見直しなどがあり、このような情勢に対応した防除体系の再構築が求められている。そこで、2030年までに化学農薬使用量（リスク換算）を10%低減、2050年までに50%低減と掲げられた、「みどりの食料システム戦略」が農林水産省により策定されてもうすぐ3年を迎える本開催時期に、当テーマを重点検討することとしたい。さらに、最近の果樹害虫の発生動向や、その対応への取り組みについても各県等から話題を募り、情報交換を行う。これにより、果樹害虫防除に関する新たな問題点などの情報を共有するとともに、その解決方法についても意見交換を行う。

### 【開催日時】

令和6年2月6日（火） 10：00 ～ 2月7日（水） 12：00

### 【開催場所】

つくば国際会議場（エポカル） 大会議室102

住所：茨城県つくば市竹園2-20-3

### 【話題提供】

#### 1. 重点検討テーマ「寒冷地・常緑・落葉果樹害虫の防除体系と今後の問題」

##### 1) (仮)「病害虫防除を産地展開にどのように活かすか」

横澤 勤 JAいわて中央（岩手中央農業協同組合）

##### 2) 各樹種での状況（タイトル未定、順不同）

・寒冷地（リンゴ）：石栗 陽一（青森県産業技術センターりんご研究所）

・常緑（カンキツ）：金崎 秀司（愛媛県農林水産研究所果樹研究センター）

・落葉（モモ・ブドウ）：村上 芳照（山梨県果樹試験場）

・落葉（ナシ）：古井 佑樹（鳥取園芸試験場）

・茶（チャ）：萬屋 宏（農研機構植物防疫研究部門）

#### 2. 各県等における最近の課題

令和5年度の果樹害虫発生動向、防除技術、防除に関する問題点などに関わる課題を広く募集する。

#### 【開催方法について】

今年度の果樹虫害研究会は対面のみで実施されます。オンライン併用のハイブリッド開催ではございませんので、ご留意願います。

#### 【発表課題の募集について】

- 1) 発表は学会に準じた形式で行い、質疑応答を含めて、1 課題あたり15分～20分程度を予定しています。申し込み者多数の場合には、発表時間や発表者数を調整させていただきますので予めご了承下さい。
- 2) 内容は特に指定いたしません。各研究機関で重点的に取り組んでいること、新規に発生が認められた害虫、最近増加してきた害虫、防除等での対応に苦慮している害虫、新しい防除技術等々、果樹害虫全般について情報交換・意見交換をしたいことであれば何でも結構です。お気軽にお申込み下さい。
- 3) 発表を希望される方は、別紙 虫 1 の「虫害「情報交換」課題発表申込書」に必要事項をご記入のうえ、E-mailで農研機構植物防疫研究部門 果樹茶病虫害防除研究領域 屋良佳緒利 (yara@affrc.go.jp) までお送り下さい。資料の提出期限は令和 5 年12月25日 (月)です。

※果樹虫害研究会は【公開】の会議です。ご発表により内容が開示された扱いとなりますので、特許等の知財を取得予定の場合には、あらかじめその旨ご承知下さい。

※別紙 虫 1 の課題発表申込書は以下のURLからダウンロードして利用可能です。

URL :

[https://www.naro.go.jp/laboratory/nifts/contents/kaigi/r5\\_kajuchagyou\\_kenkyukai.html](https://www.naro.go.jp/laboratory/nifts/contents/kaigi/r5_kajuchagyou_kenkyukai.html)

(果樹虫害研究会問合せ先)

〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷92-24

農研機構植物防疫研究部門 果樹茶病虫害防除研究領域 屋良佳緒利

E-mail: yara@affrc.go.jp TEL: 019-645-6157

## 寒冷地果樹研究会

「近年の寒冷地果樹関連の成果と課題」

### 【趣旨】

寒冷地果樹（リンゴ）産地における課題の現状やこれまでの技術開発の取り組みを踏まえ、持続的な発展を可能にする技術体系確立に向けて、情報共有と論議を進めることでより一層の連携と研究推進を図る。

### 【開催日時】

令和6年1月24日（水） 13：10～17：15

### 【開催場所】

いわて県民情報交流センター(アイーナ)

(〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号 TEL：019-606-1717)

803会議室（リモート配信は行いません）

### 【話題提供】

1. 青森県における近年の成果と課題
2. 岩手県における近年の成果と課題
3. 宮城県における近年の成果と課題
4. 秋田県における近年の成果と課題
5. 山形県における近年の成果と課題
6. 福島県における近年の成果と課題
7. 群馬県における近年の成果と課題
8. 長野県における近年の成果と課題
9. 富山県における近年の成果と課題
10. 広島県における近年の成果と課題
11. 農研機構果樹茶業研究部門における最近の成果と課題

### 【発表方法】

- 1) 発表は学会に準じた形式で行い、質疑応答を含めて、1課題あたり20分程度を予定しています。
- 2) 発表要旨の作成をお願いします。発表要旨は、当日に会場で配布します。発表要旨の様式および提出期限は、事務局より別途お知らせします。

### 【事務局】

農研機構果樹茶業研究部門 果樹生産研究領域 岩波宏

Tel: 019-645-6155

E-mail: ringo-fruit@naro.affrc.go.jp

## 茶業研究会

「茶業研究の動向と成果」

### 【趣旨】

茶業に係る試験研究の問題を取り上げ、技術情報の交換、研究課題の整理、研究手法の深化等を図り、もって茶業関係試験研究機関等の研究者相互の連携の強化や試験研究の効率化に資するため、研究会を開催する。

### 【開催日時】

令和6年1月25日（木）9：30～16：00

### 【開催場所・方法】

Zoomによるオンライン開催。会議アドレスについては、参加者に直接メールにて連絡する。

### 【検討事項】

- ① 茶業とみどりの食料システム戦略に係る話題提供（9：40～10：30）  
講師：農林水産省 農産局 果樹・茶グループ 皿谷 俊祐 氏  
農研機構 みどり戦略・スマート農業推進室 根角 厚司 氏
- ② 育種・栽培・利用加工分科会（10：40～12：00）
  - 1) 令和5年度茶育種系適試験の概要
  - 2) 研究トピックスの紹介（成果情報等）
  - 3) 対応すべき課題
- ③ 土壌肥料分科会（13：00～14：20）
  - 1) 現在実施中の課題、次年度からの新規課題
  - 2) 対応すべき課題
  - 3) 要望事項
- ④ 病虫害分科会（14：30～15：50）
  - 1) 病虫害関係試験研究の紹介（プロジェクト、成果情報含む）
  - 2) 対応すべき課題（新病虫害・多発病虫害など）
  - 3) その他

### 【事務局】

農研機構 果樹茶業研究部門 研究推進部 茶業連携調整役 山田龍太郎

E-mail : cha-renkei@ml.affrc.go.jp TEL : 0547-45-4101 FAX : 0547-46-2169